



## 組合員の不安をなくし、安全に業務を担うための申し入れを行う！

今、営業職場では「駅の変革のスピードアップ」という内容で、これまで実施してきた各種施策をスピードアップしていくことが説明され、その内容に応じた作業ダイヤの見直しや、ホーム業務の見直しが行われようとしています。今後もPlus Valueの実現に向けて、駅業務もこれまでとは大きく変わっていきます。一方、私たちもポストコロナ時代を見据えて、今までの認識を変革させ、新たな価値創造・収益拡大に向けて安全を第一に据え、取り組んでいくことに異論はありません。しかし、6月から実施されるホーム業務の見直しについては、現場の組合員から、「乗降終了合図を無くして安全は担保されるのか」、「通勤時間帯のお客さまのご利用はそこまで減ってはならず、本当に大丈夫なのか」と、多くの不安の声が出ています。

地本は、「新生JR東労組運動宣言」のもと、施策の目的との整合性や施策を実施した職場の現状を検証し、建設的な労使議論を行い会社の発展と組合員が「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる駅職場とするために、下記のとおり申し入れを行いました。

### 《要求項目》

1. 各駅で実施される乗降終了合図の見直しの根拠を明らかにすること。また、輸送障害や繁忙期などのホーム混雑時、乗務員より要請があればすぐに乗降終了合図の対応ができる体制とすること。
2. 乗降終了合図の見直しによる乗務員のドア扱いに対する不安を解消すると共に、ドア扱いによるトラブルが発生した場合はしっかりと原因を究明し対策を講じること。
3. 安全上問題等が生じた際は、労使で協議すること。

「安全・安心・ゆとり・働きがい」を実感できる労働環境とするために、職場で働く組合員の声を基に、団体交渉を行います！